

# 市川市子育て支援に関するニーズ調査

アンケートにご協力をお願いします。

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

市川市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間の一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施します。（平成27年度から実施予定）

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市川市が算出するため、住民の皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

調査結果につきましては、認定こども園や小規模保育などの整備や、放課後保育クラブの対象年齢の拡大など、子ども・子育て支援新制度に基づく新たな施策・拡大する施策の検討材料としても活用させていただきます。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【いただいた回答は地域の子育て支援の充実に活かされます】



#### 子ども・子育て支援新制度の考え方（参考）

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

#### ■ご記入にあたっての注意点■

- ①この調査は、平成 25 年 11 月 1 日現在の状況でお答えください。
- ②質問中、「お子さん」とある場合には、《「お子さん」＝封筒の宛名のお子さん》としてお答えください。
- ③質問用紙に直接書き込んでお答えください。
- ④時間は **24 時間制（例：09 時、18 時など）** で、数字は **1 つの口** に **1 字** でご記入ください。
- ⑤施設・事業の詳細、利用料（保育料等）については、「別紙」を添付いたしましたので、ご参照ください。
- ⑥ご記入がすみましたら、  
ア) 市川市役所本庁舎 1 階子育て支援課、行徳支所 2 階行徳子育て総合案内へご持参  
（平日の 8 時 45 分～17 時 15 分で受付）  
イ) 同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函  
のいずれかの方法により、**11 月 30 日（土）まで**にご提出ください。  
※ア) の方法でご持参いただいた場合には、「いちかわ子育ておでかけMAP」をプレゼントします。
- ⑦この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。  
市川市こども部子育て支援課 電話：047-334-1177（直通）

## 1. お住まいの地域についてうかがいます。

問 1 お住まいの地区として当てはまる番号 1 つに○をつけてください。《次第 1 で調整》

1 大柏地区	大町、大野町、奉免町、柏井町、南大野
2 宮久保地区	宮久保 3～6 丁目、北方町 4 丁目、東菅野 4・5 丁目、下貝塚
3 曾谷地区	曾谷、宮久保 1～2 丁目、国分 1 丁目、東国分、稲越町
4 国分・国府台地区	堀之内、北国分、中国分、国府台、国分 2～7 丁目
5 市川地区	真間、市川、須和田 2 丁目
6 八幡地区	菅野、平田 1・2 丁目、須和田 1 丁目、八幡 3 丁目、東菅野 1～3 丁目
7 中山地区	八幡 1・2・4～6 丁目、北方、本北方、若宮、鬼越、中山、高石神
8 市川南地区	新田、市川南、平田 3・4 丁目、大洲、大和田
9 南八幡地区	南八幡、鬼高、稲荷木、東大和田、田尻 1・2 丁目
10 信篤地区	田尻 3～5 丁目、田尻（1～5 丁目以外）、高谷、高谷新町、原木、二俣、二俣新町、東浜、上妙典
11 妙典地区	妙典、下妙典、下新宿、本行徳、本塩、関ヶ島、富浜、塩焼、宝 1 丁目、幸 1 丁目、加藤新田、高浜町、河原
12 行徳地区	伊勢宿、末広、宝 2 丁目、幸 2 丁目、押切、行徳駅前、入船、日之出、湊、湊新田、湊新田 1・2 丁目、香取、福栄 2 丁目、千鳥町、新浜、塩浜 1～3 丁目
13 南行徳地区	欠真間、相之川、福栄 1・3・4 丁目、南行徳、新井、広尾、島尻、塩浜 4 丁目

## 2. お子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 お子さん（封筒の宛名のお子さんのことです。以下、全設問同じ）の生年月月をご記入ください。  
（例 平成 24 年 01 月生まれ）

平成   年   月 生まれ

問3 お子さんのきょうだいは何人いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いない    2. 1人    3. 2人    4. 3人    5. 4人以上

問4 この調査票に記入されているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親    2. 父親    3. その他（                      ）

問5 この調査票に記入されている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる    2. 配偶者はいない

問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親    2. 父親    3. 父母ともに    4. 祖父母    5. その他（                      ）



### 3. 子育て環境についてうかがいます。

問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問8 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか(いますか)。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. はい ⇒ 問9へ
2. いいえ ⇒ 問10へ

問9 問8で「1. はい」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設(親子つどいの広場、地域子育て支援センター、こども館等)・NPO等
5. 保健所・保健センター・保健師
6. 保育園・保育士
7. 幼稚園・幼稚園教諭
8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医院・医師・看護師
10. 市川市の子育て支援課・保育課窓口
11. こども発達センター
12. その他(【例】ベビーシッター )

問10 子育てをする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

#### 4. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 11 お子さんは、現在「親子つどいの広場」「地域子育て支援センター」「こども館」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場です）を現在どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。現在の利用日数をA欄に、希望する利用日数をB欄に（現在の状況と同じ場合には記入不要です）、数字でご記入ください。

	A欄（現在の利用日数） ※利用していない場合は〇と記入	B欄（希望する利用日数） ※A欄と異なる場合のみ記入
親子つどいの広場、または 地域子育て支援センター	月 □□日 くらい	月 □□日 くらい
こども館	月 □□日 くらい	月 □□日 くらい

問 12 下記の①～⑪の事業ごとに、A～Cのすべてについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親学級・両親学級	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ	<del>はい 　 いいえ</del>
②保健センターの育児相談・ 健康講座	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ
③家庭教育学級	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ
④教育センターによる教育相談	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ
⑤保育所の地域交流事業・園庭開放	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ
⑥幼稚園の育児相談・園庭開放	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ
⑦子育て家庭総合支援センター （子育てに関する総合支援窓口）	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ
⑧児童家庭支援センター・こうのだい			
⑨こども発達センター	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ
⑩すこやか応援隊（保育士・栄養士の チーム）による相談・ すこやか広場	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ
⑪行徳子育て総合案内	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ
⑫いちかわ子育てガイドブック	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ
⑬いちかわっこWEB （子育て応援サイト）	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ	はい 　 いいえ



問 16 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

- |         |           |
|---------|-----------|
| 1. 市川市内 | 2. 他の市区町村 |
|---------|-----------|

問 17 現在、利用している教育・保育事業の前後、または送迎のために、ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）を利用していますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。

- |   |
|---|
| 1. ほぼ毎日利用している                                   |
| 2. 週に数日利用している → 1 週当たり <input type="text"/> 日程度 |
| 3. 月に数日利用している → 1 月当たり <input type="text"/> 日程度 |
| 4. 利用していない                                      |

問 18 問 13 で教育・保育事業を「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 子どもの母親か父親がみている  |
| 2. 子どもの祖父母、親族、父母の友人・知人等がみている                               |
| 3. 利用したいが、事業に空きがない（市や施設等に <u>申し込みをしている</u> ）               |
| 4. 利用したいが、事業に空きがない（市や施設等に <u>申し込みをしていない</u> ）              |
| 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない                                 |
| 6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない                               |
| 7. 利用したいが、事業の利用要件（就労要件等）に当てはまらない                           |
| 8. 子どもがまだ小さいため（ <input type="text"/> 歳くらいになったら利用しようと考えている） |
| 9. その他（ <input type="text"/> ）                             |





問 21 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「2.」に○をつける場合には、□内に数字でご記入ください。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 問 1 (3 ページ) で回答した居住地区内 ⇒ 問 23 へ</li><li>2. 市川市内だが、問 1 で回答した居住地区とは別の地区<br/>→希望する地区の番号を問 1 をご参照の上ご記入ください。→ <input type="text"/> ⇒ 問 22 へ</li><li>3. 他の市区町村</li></ol> |
|---|

問 22 問 21 で「2.」または「3.」に○をつけた方にうかがいます。居住地区とは別の地区または他の市区町村を希望する理由は何ですか。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 母親または父親の職場に近い、または通勤経路にある</li><li>2. 祖父母等の親族の家に近い</li><li>3. 希望する施設が居住地区とは別の地区等にある</li><li>4. その他 ( )</li></ol> |
|---|

問 23 希望とは異なる教育・保育事業を現在利用している方にうかがいます。希望する事業を利用できていない理由は何ですか。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 利用したい事業に空きがない (市や施設等に申し込みをしている)</li><li>2. 利用したい事業に空きがない (市や施設等に申し込みをしていない)</li><li>3. 利用したい事業が地域において実施されていない</li><li>4. 利用したい事業の利用料 (保育料等) が高い</li><li>5. 利用したい事業の利用要件 (就労要件等) に当てはまらない</li><li>6. その他 ( )</li></ol> |
|--|

問 24 教育・保育・子育て支援の利用が円滑にできるように、調整・案内する人 (介護保険のケアマネージャーのような人) がいれば、相談したいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 相談したい</li><li>2. 特に相談したいと思わない</li></ol> |
|--|

6. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について  
うかがいます。

問 25 すべての方にうかがいます。お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に教育・保育事業の  
利用希望はありますか（利用料あり）。希望がある場合には、口内に数字をご記入ください。  
（記入例：09時から18時まで）

※一時的な利用、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	} ⇒ 利用したい時間帯	□□時 から □□時まで
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1~2回は利用したい		

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない	} ⇒ 利用したい時間帯	□□時 から □□時まで
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1~2回は利用したい		

問 26 お子さんが「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。夏休み・冬休みなど長期の休暇  
期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか（利用料あり）。希望がある場合には、口内  
に数字をご記入ください。（記入例：09時から18時まで）

1. 利用する必要はない	} ⇒ 利用したい時間帯	□□時 から □□時まで
2. ほぼ毎日利用したい		
3. 週に数日利用したい		

**7. お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。**

問 27 平日の教育・保育の事業を利用している方（問 13 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。  
（それ以外の方は、問 31 にお進みください。）

この 1 年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. あった ⇒ 問 28 へ | 2. なかった ⇒ 問 31 へ |
|-----------------|------------------|

問 28 病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法ごとの日数（おおよそ）を《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。

《回答の選択肢》 ※選択肢 4 の日数を超える場合は日数を数字で記入してください。

1. 1～2 日    2. 3～4 日    3. 5～6 日    4. 7～8 日

1 年間の対処方法	日数（年間） （上記選択肢より）
ア. 父親が休んだ	
イ. 母親が休んだ	
ウ. 親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった	
エ. 父親又は母親のうち自宅にいる方が子どもをみた	
オ. 病児・病後児の保育を利用した	
カ. ベビーシッターを利用した	
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	
ク. その他（   ）	

問 29 問 28 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。（利用料あり、事前にかかるつけ医の受診が必要）

- |                          |
|--------------------------|
| 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい |
| 2. 利用したいと思わない            |

問 30 問 29 で「1」に○をつけた方にうかがいます。 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業                           |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業  |
| 3. その他（   ） |

**8. お子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問 31 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等を目的としたお子さんを預ける事業を、現在どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。この1年間の事業ごとの利用日数（おおよそ）を「A欄（現在）」に、希望する利用日数（おおよそ）を「B欄（希望）」に、《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。（利用料は別紙を参照）

《回答の選択肢》※選択肢5の日数を超える場合は日数を数字で記入してください。  
 1. 利用していない 2. 1～5日 3. 6～10日 4. 11～15日 5. 16～20日

利用している事業	利用日数（年間） （上記選択肢より）	
	A欄（現在）	B欄（希望）
一時預かり（保育所などで不規則に子どもを保育する事業）		
幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業）		
ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）		
休日養護・夜間養護 （児童養護施設で休日・夜間に子どもを預かる事業）		
ベビーシッター		
その他（ ）		

問 32 問 31 の目的で、お子さんを預ける事業について、どのような目的で利用したいと思いますか。目的ごとの利用希望日数（おおよそ）を問 31 の《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。

	日数（年間） （問 31 の選択肢より）
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	
不規則の就労	
その他（ ）	

問 33 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。「1」「2」のいずれかに○をつけ、「1. あった」の場合には、それぞれの日数（おおよそ）を口内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	イ. こどもショートステイ事業を利用した (児童養護施設で一定期間、子どもを預かる事業)	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	カ. その他（ ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
問 34 へ	2. なかった ⇒ 問 35 へ	

問 34 問 33 で「1. あった ア、エ、オ」のいずれかを回答した方にうかがいます。（それ以外の方は問 35 へお進みください。）今後同様の機会がある際には、保育事業等を利用したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。（利用料は別紙を参照）

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. こどもショートステイ事業を利用したい</li> <li>2. ファミリー・サポート・センターを利用したい</li> <li>3. 1、2 以外の保育事業を利用したい</li> <li>4. 利用したいと思わない</li> </ol>
--

## 9. 小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 35 お子さんが5歳以上である方にうかがいます(4歳以下の方は問37へお進みください)。お子さんについて、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年・高学年のそれぞれで、当てはまる内容すべてについて、希望する1週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後保育クラブ」の場合には利用を希望する時間も数字でご記入ください(記載例：下校時から18時まで)。

	小学校低学年(1~3年生)	小学校高学年(4~6年生)
1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、学習塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. こども館(児童館)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. ビーイング (放課後子ども教室)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 放課後保育クラブ (学童保育)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい →下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで	週 <input type="checkbox"/> 日くらい →下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. その他 (公民館・公園など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

問 36 へ

事業の概要(詳細は別紙を参照)

こども館

赤ちゃんから高校生まで18歳未満の子どもたちの遊び場

ビーイング

学校施設などを利用した子どもの居場所で、地域の方々の協力を得て運営されています

放課後保育クラブ

保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するも。子ども・子育て支援新制度により対象年齢が拡大となります。保育料は別紙を参照してください。

問 36 問 35 で「6. 放課後保育クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます（それ以外の方は問 37 へお進みください）。お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、利用したい時間帯を数字でご記入ください。（記入例：09時から 18時まで）

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯 □□時 から □□時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

(2) 日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯 □□時 から □□時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

(3) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯 □□時 から □□時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	





## 10. お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

### 問 37～問 39 までの共通注意点

- ・「フルタイム」：1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労
- 「パート・アルバイト等」：「フルタイム」以外の就労としてお答えください。
- ・父子家庭の場合の「母親」の欄、母子家庭の場合の「父親」の欄の記入は不要です。

問 37 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |                                      |             |
|--------------------------------------|-------------|
| 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない      | } ⇒ (1)-1 へ |
| 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である      |             |
| 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない |             |
| 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である |             |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない             | } ⇒ (2) へ   |
| 6. これまで就労したことがない                     |             |

(1) -1 (1)で「1～4」に○をつけた方うかがいます。1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻、帰宅時刻を数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
(時刻の記入例：09 時、18 時)

1 週当たり <input type="text"/> 日	1 日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間
家を出る時刻 <input type="text"/> <input type="text"/> 時	帰宅時刻 <input type="text"/> <input type="text"/> 時

(2) 父親 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |                                   |             |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない      | } ⇒ (2)-1 へ |
| 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である      |             |
| 3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない |             |
| 4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である |             |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない          | } ⇒ 問 40 へ  |
| 6. これまで就労したことがない                  |             |

(2) -1 (2)で「1~4」に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻、帰宅時刻を数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
(時刻の記入例：09時、18時)

1週当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> 日	1日当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 時間
家を出る時刻 <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 時	帰宅時刻 <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 時

問38 問37の(1)または(2)で「3.4.」に○をつけた方にうかがいます。(それ以外の方は、問39へお進みください。)

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

(1) 母親

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある</li> <li>2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない</li> <li>3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望</li> <li>4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい</li> </ol>
---

(2) 父親

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある</li> <li>2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない</li> <li>3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望</li> <li>4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい</li> </ol>
---

問39 問37の(1)または(2)で「5.6.」に○をつけた方にうかがいます(それ以外の方は、問40へお進みください)。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ 1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください

(1) 母親

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)</li> <li>2. 1年より先、一番下の子が <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 歳になったところに就労したい</li> <li>3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい</li> </ol>	
→希望する就労形態 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="padding: 5px;">           ア. フルタイム            イ. パートタイム、アルバイト等            →1週当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> 日    1日当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 時間         </td> </tr> </table>	ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等 →1週当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> 日    1日当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 時間
ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等 →1週当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> 日    1日当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 時間	

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子が□□歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム

イ. パートタイム、アルバイト等

→1週当たり□日 1日当たり□□時間

## 11. 育児休業など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 40 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは両方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由として当てはまる欄すべてに○をつけてください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である） ⇒取得期間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日	2. 取得した（取得中である） ⇒取得期間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
3. 取得していない	3. 取得していない



取得していない理由（すべてに○をつけてください。）	母親	父親
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった		
仕事が忙しかった		
（産休後に）仕事に早く復帰したかった		
仕事に戻るのが難しそうだった		
昇給・昇格などが遅れそうだった		
収入減となり、経済的に苦しくなる		
保育所（園）などに預けることができた		
配偶者が育児休業制度を利用した		
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった		
子育てや家事に専念するため退職した		
職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）		
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった		
育児休業を取得できることを知らなかった		
産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した		
自営業である		
その他（ <input type="text"/> ）		

問 41 問 40 で「2.」と回答した方にうかがいます。(それ以外の方は問 45 へお進みください。)

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる欄に○をつけてください。

	母親	父親
育児休業取得後、職場に復帰した		
現在も育児休業中である（復帰予定である）		
育児休業中に離職した		

問 42 問 41 で「育児休業後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまでとりたかったですか。数字でご記入ください。

	母親	父親
実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月
希望の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月

問 43 問 42 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる欄すべてに○をつけてください。

	母親	父親
希望する保育所に入るため		
配偶者や家族の希望があったため		
経済的な理由で早く復帰する必要があった		
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため		
その他（ <input type="text"/> ）		

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる欄すべてに○をつけてください。

	母親	父親
希望する保育所に入れなかったため		
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため		
配偶者や家族の希望があったため		
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため		
子どもをみてくれる人がいなかったため		
その他（ <input type="text"/> ）		

問 44 問 41 で「2. 現在も育児休業中である」と回答し、お子さんが1歳未満の方にうかがいます。お子さんが1歳になったときに必ず預けられる保障（保育園の入園など）があれば、1歳になるまで育児休業を取得したいですか。または、預けられる保障があっても1歳になる前に復帰したいですか。当てはまる欄に○をつけてください。

	母親	父親
1歳になるまで育児休業を取得したい		
1歳にまる前に復帰したい		



## 12. 自由意見

問 45 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
--

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ア) 市川市役所本庁舎1階子育て支援課、行徳支所2階行徳子育て総合案内へご持参  
(平日の8時45分～17時15分で受付)

イ) 同封の返信用封筒(切手不要)に入れて投函

のいずれかの方法により、11月30日(土)までにご提出ください。

※ア)の方法でご持参いただいた場合には、「いちかわ子育ておでかけMAP」をプレゼントします。





## 1. 教育・保育・子育て支援にかかる各事業の内容の詳細について

## ■教育・保育事業

施設・事業名	内容
幼稚園（市川市においては、私立：3年保育、公立：2年保育）	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設です。
私立幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かる事業です。定期的な就労を支援するもの、リフレッシュのためのものの2種類があります。
認可保育所	国が定める最低基準に適合した施設で都道府県の認可を受けた、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設です。
認定こども園	幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設、現在市川市内にはありません。
家庭的保育	市川市では「ファミリー・ママ制度」と呼んでいます。保育者の家庭等で子どもを保育する事業です。
事業所内保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設です。問19は従業員でなくても利用できるという想定でお答えください。
自治体の認証・認定保育施設	認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設であり、現在市川市内にはありません。
その他の認可外の保育施設	簡易保育園などの施設です。
居宅訪問型保育	ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業です。
小規模な保育施設	平成27年4月から制度の開始が予定されている、国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人の保育施設です。現在はないため、問15のみ選択肢に入ります。

## ■子育て支援事業

施設・事業名	内容
親子つどいの広場	主に0歳～3歳までのお子さんと保護者、妊婦さんが、ふらっと立ち寄って遊んだり、お友達作りや情報交換ができる施設です。利用料はかかりません。
地域子育て支援センター	主に0歳～就学前までのお子さんと保護者、妊婦さんが、楽しく遊んだり、情報交換したり、自由に利用できる施設です。利用料はかかりません。

こども館	赤ちゃんから高校生まで、18歳未満の市民なら誰でも遊ぶ事ができる施設です。利用料はありません。
ファミリー・サポート・センター	育児の支援をしたい会員、育児の支援を受けたい会員、両方を利用したい会員を組織化し、子育てに関する人と人との相互援助活動として、保育園・幼稚園・放課後保育クラブへの送迎・送迎後の預かり等のサポートを行います。
病児・病後児保育	子どもが病気になった際に、病院・保育所等に付設された専用スペース等において一時的に保育する事業。現在、市川市においては病気回復期にある場合の病後児保育を実施しています。
一時預かり	保育所などで一時的に子どもを保育する事業です
休日養護・夜間養護	松戸市の児童養護施設晴香園で子どもを預かる事業です 夜間養護：18時～22時 休日養護：7時～18時の間で概ね8時間
こどもショートステイ事業	松戸市の児童養護施設晴香園で一定期間（原則7日間以内）子どもを預かる事業です
ビーイング	学校施設などを利用した子どもの居場所です。地域の人々とのふれあいや異年齢交流による生活体験を通して、子どもの健全な育成を図ります。子どもたちはスタッフが見守る中、いろいろや遊びをします。保護者の就労の有無にかかわらず、すべての小学生が利用でき、利用料はかかりません。
放課後保育クラブ	保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。現在は小学1～3年生（定員に余裕があるときは4年生の夏休み終了まで、心身に障害を有する児童は6年生まで）が対象ですが、子ども・子育て支援新制度施行後は、小学校6年生まで対象が拡大する予定です。

## 2. 利用料（保育料など）の概要（平成25年11月現在）

- ※1. 下記に記載するのは現行制度の下の利用者負担であり、平成27年度開始が予定されている「子ども・子育て支援制度」の制度設計により、変更となる場合があります。
- ※2. 私立幼稚園・私立幼稚園の預かり保育・認可外保育施設など下記に記載しない事業については、事業者と利用者の自由契約によるため市は設定していません。

### (1) 市川市立幼稚園

月額10,000円ですが、保育料の他に教材費等の費用がかかります。

### (2) 私立幼稚園

前述する※2のとおり。（参考：保育料（入園料を含む）の全国平均：月額約25,700円）

市から私立幼稚園就園奨励費補助金の支給があります

…年額35,000円～343,000円（所得による）

(3) 認可保育所

保育料 0～70,000 円（子どもの年齢や所得によって保育料は変わります）。詳細は 4 ページのとおりですが、D6 から D10 の階層の世帯がもっとも多く、第 1 子の保育料をみると、23,000 円～50,000 円の保育料を支払う世帯の割合が多くなっています（4 ページの徴収額表を参照してください）。

(4) 家庭的保育

所得税課税世帯	月額 30,000 円
所得税非課税世帯	月額 15,000 円
生活保護世帯	月額 0 円

※延長保育費用、食費などは別途必要

(5) 認可外保育施設（簡易保育園）

○保育料：前述する※2（2 ページ）のとおり。

（参考：保育料相当額（保育料＋教材費等）の平均額

…3 歳未満児約 64,000 円、3 歳以上児約 55,000 円）

○市から簡易保育園保育料補助金の支給があります

…3 歳未満児 21,000 円、3 歳以上児 10,200 円（4 月 1 日現在の満年齢で）

(6) ファミリー・サポート・センター

区分	お礼の基準の額
月～金曜の午前 7 時～午後 8 時まで	500 円／1 時間
土日祭日及び年末年始並びに上記以外の時間	600 円／1 時間

(7) 一時預かり事業

	年齢	利用料金
利用料	3 歳未満児クラス	300 円／1 時間
	3 歳以上児クラス	200 円／1 時間
昼食料	300 円／1 回	

(8) 休日養護・夜間養護・こどもショートステイ事業（短期入所）

区分	一般世帯	市民税非課税世帯
休日養護	1,400 円	350 円
夜間養護	800 円	350 円
短期入所 2 歳未満	5,500 円	1,100 円
短期入所 2 歳以上	2,850 円	1,100 円

(9) 放課後保育クラブ

○児童 1 人当たり月額 8,000 円

○同一世帯で、複数利用する場合、2 人目から 4,000 円

平成25年度保育園保育料徴収額表

階層区分	在籍児童の属する世帯の階層区分	保育料徴収基準額(月額)(第1子)				第2子の保育料				第3子以降の保育料		国基準保育料(参考)
		3歳未満児	3歳児	4歳以上児	3歳未満児(1子)と3歳未満児(2子)と3歳未満児(3子)	3歳未満児(1子)と3歳未満児(2子)	4歳以上児(1子)と3歳未満児(2子)	3歳児	4歳以上児	3歳未満児	3歳以上児	
A	生活保護法による被保護世帯(車給世帯を含む)及び、中国残留孤児等の円滑な帰国の促進及び未帰国後の自立の支援に関する法律による支援給付世帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B	A階層を除く前年度分の市区町村住民税及び所得税非課税世帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,000
C	1 前年度分の市区町村住民税均等割の額のみ課税されている世帯	7,800	6,600	6,600	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,300	3,300	19,500
	2 前年度分の市区町村住民税所得割6,500円未満の世帯	8,800	7,500	7,500	4,400	4,400	4,400	4,400	4,400	3,700	3,700	16,500
	3 前年度分の市区町村住民税所得割6,500円以上の世帯	9,800	8,300	8,300	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,100	4,100	
D	1 前年度分の所得税の額	17,000	15,000	15,000	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	7,500	7,500	30,000
	2 5,000円 ~ 10,000円 未満	19,500	17,500	17,000	9,750	9,750	9,750	9,750	8,750	8,500	8,500	
	3 10,000円 ~ 20,000円 未満	22,500	20,000	19,000	11,250	11,250	11,250	11,250	10,000	9,500	9,500	
	4 20,000円 ~ 30,000円 未満	25,000	21,500	20,000	12,500	12,500	12,500	12,500	10,750	10,000	10,000	
	5 30,000円 ~ 40,000円 未満	28,000	23,000	21,000	14,000	14,000	14,000	14,000	11,500	10,500	10,500	
	6 40,000円 ~ 60,000円 未満	33,000	27,000	23,000	16,500	16,500	16,500	16,500	13,500	11,500	11,500	
	7 60,000円 ~ 80,000円 未満	38,000	28,000	24,000	19,000	19,000	19,000	19,000	14,000	12,000	12,000	
	8 80,000円 ~ 103,000円 未満	41,000	29,000	25,000	20,500	20,500	20,500	20,500	14,500	12,500	12,500	
	9 103,000円 ~ 133,000円 未満	47,000	30,000	25,000	23,500	23,500	23,500	23,500	15,000	12,500	12,500	
	10 133,000円 ~ 163,000円 未満	50,000	30,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	15,000	12,500	12,500	
	11 163,000円 ~ 193,000円 未満	51,000	30,500	26,000	25,500	25,500	25,500	25,500	15,250	13,000	13,000	
	12 193,000円 ~ 233,000円 未満	52,000	30,500	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	15,250	13,000	13,000	
13 233,000円 ~ 273,000円 未満	53,000	30,500	26,000	26,500	26,500	26,500	26,500	15,250	13,000	13,000		
14 273,000円 ~ 313,000円 未満	54,000	30,500	26,000	27,000	27,000	27,000	27,000	15,250	13,000	13,000		
15 313,000円 ~ 363,000円 未満	55,000	30,500	26,000	27,500	27,500	27,500	27,500	15,250	13,000	13,000		
16 363,000円 ~ 413,000円 未満	56,000	30,500	26,000	28,000	28,000	28,000	28,000	15,250	13,000	13,000		
17 413,000円 ~ 513,000円 未満	62,000	33,000	27,000	31,000	31,000	31,000	31,000	16,500	13,500	13,500		
18 513,000円 ~ 623,000円 未満	63,000	33,000	28,000	31,500	31,500	31,500	31,500	16,500	14,000	14,000		
19 623,000円 ~ 734,000円 未満	64,000	33,000	28,000	32,000	32,000	32,000	32,000	16,500	14,000	14,000		
20 734,000円 ~ 1,113,000円 未満	68,000	34,000	28,000	34,000	34,000	34,000	34,000	17,000	14,000	14,000		
21 1,113,000円 ~	70,000	34,000	28,000	35,000	35,000	35,000	35,000	17,000	14,000	14,000		

無料  
※【注4】参照

【注1】この表の課税額を計算する場合には、平成22年度税制改正により廃止された年少扶養控除(扶養親族のうち、年齢16歳未満の者)及び年齢16歳以上19歳未満の者に対する扶養控除の上乗せ部分について、引き続き扶養控除があるものとし、税制改正前の控除額で再計算することにより算出した額を所得税額とみなします。(別紙「年少扶養控除・特定扶養控除の廃止に伴う保育料の算定について」参照)

【注2】この表の課税額を計算する場合には、市区村民税については、寄付金控除、配当控除、外国税控除及び住宅ローン控除、所得税額については、配当控除、外国税控除、住宅ローン控除、寄付金控除、電子申告控除及び外国税控除、住宅特定修特別税額控除、認定長期児童福祉施設(児童福祉施設)の控除(いずれも税額からの控除)の適用はありません。

【注3】2人以上の児童が保育園、幼稚園(特別支援学校幼稚部を含む)、認定こども園、福祉型児童発達センター、医療型児童発達センター、情緒障害児短期治療施設(通園・通所、または児童デイサービス)を利用している児童が前児童である場合、第2子の保育料は上記表の通りとなります。また、同一世帯から5歳未満児と3歳以上児の2人が入園している場合は※印(1)の通りとなります。

【注4】3人以上の児童が上記施設(前易保育園を除く)に通園・通所している場合、第3子以降の保育料は無料となります。

【注5】市川市独自の第3子以降の保育料の支援制度に關しては別紙「第3子保育料無料化の制度の改定のお知らせ」を参照してください。

【注6】上記保育料表の年齢区分は、平成25年度のクラス年齢となり、年度中に変更はありません。

# 市川市子育て支援に関するニーズ調査

アンケートにご協力をお願いします。

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

市川市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間で一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施します。（平成 27 年度から実施予定）

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市川市が算出するため、住民の皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

調査結果につきましては、認定こども園や小規模保育などの整備や、放課後保育クラブの対象年齢の拡大など、子ども・子育て支援新制度に基づく新たな施策・拡大する施策の検討材料としても活用させていただきます。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【いただいた回答は地域の子育て支援の充実に活かされます】



#### 子ども・子育て支援新制度の考え方（参考）

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

#### ■ご記入にあたっての注意点■

- ①この調査は、平成 25 年 11 月 1 日現在の状況でお答えください。
- ②質問中、「お子さん」とある場合には、《「お子さん」＝封筒の宛名のお子さん》としてお答えください。
- ③質問用紙に直接書き込んでお答えください。
- ④時間は 24 時間制（例：09 時、18 時など）で、数字は 1 つの口に 1 字でご記入ください。
- ⑤ご記入がすみましたら、
  - ア) 市川市役所本庁舎 1 階子育て支援課、行徳支所 2 階行徳子育て総合案内へご持参（平日の 8 時 45 分～17 時 15 分で受付）
  - イ) 同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函のいずれかの方法により、11 月 30 日（土）までにご提出ください。  
※ア) の方法でご持参いただいた場合には、「いちかわ子育ておでかけMAP」をプレゼントします。
- ⑥この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。  
市川市こども部子育て支援課 電話：047-334-1177（直通）

## 1. お住まいの地域についてうかがいます。

問 1 お住まいの地区として当てはまる番号 1 つに○をつけてください。《次第 1 で調整》

1 大柏地区	大町、大野町、奉免町、柏井町、南大野
2 宮久保地区	宮久保 3～6 丁目、北方町 4 丁目、東菅野 4・5 丁目、下貝塚
3 曾谷地区	曾谷、宮久保 1～2 丁目、国分 1 丁目、東国分、稲越町
4 国分・国府台地区	堀之内、北国分、中国分、国府台、国分 2～7 丁目
5 市川地区	真間、市川、須和田 2 丁目
6 八幡地区	菅野、平田 1・2 丁目、須和田 1 丁目、八幡 3 丁目、東菅野 1～3 丁目
7 中山地区	八幡 1・2・4～6 丁目、北方、本北方、若宮、鬼越、中山、高石神
8 市川南地区	新田、市川南、平田 3・4 丁目、大洲、大和田
9 南八幡地区	南八幡、鬼高、稲荷木、東大和田、田尻 1・2 丁目
10 信篤地区	田尻 3～5 丁目、田尻（1～5 丁目以外）、高谷、高谷新町、原木、二俣、二俣新町、東浜、上妙典
11 妙典地区	妙典、下妙典、下新宿、本行徳、本塩、関ヶ島、富浜、塩焼、宝 1 丁目、幸 1 丁目、加藤新田、高浜町、河原
12 行徳地区	伊勢宿、末広、宝 2 丁目、幸 2 丁目、押切、行徳駅前、入船、日之出、湊、湊新田、湊新田 1・2 丁目、香取、福栄 2 丁目、千鳥町、新浜、塩浜 1～3 丁目
13 南行徳地区	欠真間、相之川、福栄 1・3・4 丁目、南行徳、新井、広尾、島尻、塩浜 4 丁目

## 2. お子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 お子さん（封筒の宛名のお子さんのことです。以下、全設問同じ）の生年月月をご記入ください。  
（例 平成 24 年 01 月生まれ）

平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月	生まれ
----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---	-----

問3 お子さんのきょうだいは何人いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いない	2. 1人	3. 2人	4. 3人	5. 4人以上
--------	-------	-------	-------	---------

問4 この調査票に記入されているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他（	）
-------	-------	---------	---

問5 この調査票に記入されている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる	2. 配偶者はいない
-----------	------------

問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. 父母ともに	4. 祖父母	5. その他（	）
-------	-------	----------	--------	---------	---





### 3. 子育て環境についてうかがいます。

問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問8 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか(いますか)。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. はい ⇒ 問9へ
2. いいえ ⇒ 問10へ

問9 問8で「1. はい」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設(こども館等)・NPO等
5. 学校の先生
6. 民生委員・児童委員
7. かかりつけの医院・医師・看護師
8. 市川市の子育て支援課窓口
9. 市川市教育センター
10. こども発達センター
11. その他( )

問10 子育てをする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

**4. お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。**

問 11 この 1 年間に、お子さんが病気やケガで小学校を欠席したことはありますか。

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. あった ⇒ 問 12 へ | 2. なかった ⇒ 問 14 へ |
|-----------------|------------------|

問 12 お子さんが病気やケガで小学校を欠席した場合に、この 1 年間に行った対処方法ごとの日数（おおよそ）を《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。

- 《回答の選択肢》※選択肢 4 の日数を超える場合は日数を数字で記入してください。
- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 1～2 日 | 2. 3～4 日 | 3. 5～6 日 | 4. 7～8 日 |
|----------|----------|----------|----------|

1 年間の対処方法	日数（年間） （上記選択肢より）
ア. 父親が休んだ	
イ. 母親が休んだ	
ウ. 親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった	
エ. 父親又は母親のうち自宅にいる方が子どもをみた	
オ. 病児・病後児の保育を利用した	
カ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	
キ. その他（ ）	

問 13 問 12 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。（利用料あり、事前にかかるつけ医の受診が必要）

- |                          |
|--------------------------|
| 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい |
| 2. 利用したいと思わない            |

※病児・病後児保育  
 子どもが病気になった際に、病院・保育所等に付設された専用スペース等において一時的に保育する事業。現在、市川市においては病気回復期にある場合の病後児保育を実施しています。

## 5. お子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 14 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等を目的としたお子さんを預ける事業を、現在どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。この1年間の事業ごとの利用日数（おおよそ）を「A欄（現在）」に、希望する利用日数（おおよそ）を「B欄（希望）」に、《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。（利用料は16ページを参照）

《回答の選択肢》※選択肢5の日数を超える場合は日数を数字で記入してください。

1. 利用していない 2. 1～5日 3. 6～10日 4. 11～15日 5. 16～20日

利用している事業	利用日数（年間） （上記選択肢より）	
	A欄（現在）	B欄（希望）
ファミリー・サポート・センター（※）		
休日養護・夜間養護（※）		
その他（ ）		

問 15 問 14 の目的で、お子さんを預ける事業について、どのような目的で利用したいと思えますか。目的ごとの利用希望日数（おおよそ）を問 14 の《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。

	日数（年間） （問 14 の選択肢より）
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	
不規則の就労	
その他（ ）	

※ファミリー・サポート・センター

育児の支援をしたい会員、育児の支援を受けたい会員、両方を利用したい会員を組織化し、子育てに関する人と人との相互援助活動として、保育園・幼稚園・放課後保育クラブへの送迎・送迎後の預かり等のサポートを行います。

※休日養護・夜間養護

松戸市の児童養護施設晴香園で子どもを預かる事業です

夜間養護：18時～22時 休日養護：7時～18時の間で概ね8時間

問 16 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。「1」「2」のいずれかに○をつけ、「1. あった」の場合には、それぞれの日数（おおよそ）を口内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	イ. こどもショートステイ事業を利用した (児童養護施設で一定期間、子どもを保護する事業)	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	ウ. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	エ. 仕方なく子どもだけで留守番させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	オ. その他 ( )	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
問 17 へ	2. なかった ⇒ 問 18 へ	

問 17 問 16 で「1. あった ア、ウ、エ」のいずれかを回答した方にうかがいます。（それ以外の方は問 18 へお進みください。）今後同様の機会がある際には、保育事業等を利用したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。（利用料は 16 ページを参照）

1. こどもショートステイ事業を利用したい 2. ファミリー・サポート・センターを利用したい 3. 利用したいと思わない
--

※こどもショートステイ事業  
 松戸市の児童養護施設晴香園で一定期間（原則 7 日間以内）子どもを預かる事業です

## 6. お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 18 お子さんについて、放課後の時間を現在どのような場所で過ごさせていますか。また希望としてはどのように過ごさせたいですか。現在の状況をA欄に、希望をB欄に（現在の状況と同じ場合には記載不要です）、それぞれの内容ごとに1週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後保育クラブ」については利用を希望する時間も数字でご記入ください（記載例：下校時から18時まで）。

	A欄（現在の状況）	B欄（希望） ※現在の状況と異なる 場合のみ記入
1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、学習塾など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. こども館（※）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. ビーイング（※）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 放課後保育クラブ（※）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい →下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで	週 <input type="checkbox"/> 日くらい →下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. その他（公民館・公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

問 19へ

※こども館（児童館）

赤ちゃんから高校生まで、18歳未満の市民なら誰でも遊ぶ事ができる施設です。利用料はありません。

※ビーイング（放課後子ども教室）

学校施設などを利用した子どもの居場所です。地域の人々とのふれあいや異年齢交流による生活体験を通して、子どもの健全な育成を図ります。子どもたちはスタッフが見守る中、いろいろ遊びをします。

保護者の就労の有無にかかわらず、すべての小学生が利用でき、利用料はかかりません。

※放課後保育クラブ（学童保育）

保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。現在は小学1～3年生（定員に余裕があるときは4年生の夏休み終了まで、心身に障害を有する児童は6年生まで）が対象ですが、子ども・子育て支援新制度施行後は、小学校6年生まで対象が拡大する予定です。（利用料は16ページ参照）

問 19 問 19～21 は、問 18 で「A欄（現在の状況）」または「B欄（希望）」で「6. 放課後保育クラブ（学童保育）」に日数を記入した方にかがいます（それ以外の方は問 22 へお進みください）。お子さんについて、小学校卒業まで放課後保育クラブを利用できるとすれば利用したいですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用したい	2. 利用する必要はない
----------	--------------

問 20 お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、利用したい時間帯を数字でご記入ください。（記入例：09時から18時まで）

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時 から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
--	-----	--

(2) 日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時 から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
--	-----	--

(3) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時 から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
--	-----	--

問 21 放課後保育クラブ（学童保育）の前後・または送迎のために、ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）を利用していますか。また利用したいと思いますか。

（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。

（1）現在利用していますか。

1. ほぼ毎日利用している
2. 週に数日利用している → 1 週当たり  日程度
3. 月に数日利用している → 1 月当たり  日程度
4. 利用していない

（2）利用したいと思いますか。

1. ほぼ毎日利用したい
2. 週に数日利用したい → 1 週当たり  日程度
3. 月に数日利用したい → 1 月当たり  日程度
4. 特に利用したいと思わない

問 22 すべての方におうかがいします。小学生の子どもが、家で一人もしくは、きょうだいで過ごす事に不安を感じますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 感じる
2. 感じない



## 7. お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

### 問 23～問 25 までの共通注意点

- ・「フルタイム」＝1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労
- 「パート・アルバイト等」＝「フルタイム」以外の就労としてお答えください。
- ・父子家庭の場合の「母親」の欄、母子家庭の場合の「父親」の欄の記入は不要です。

問 23 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |                                      |             |
|--------------------------------------|-------------|
| 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない      | } ⇒ (1)-1 へ |
| 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である      |             |
| 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない |             |
| 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である |             |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない             | } ⇒ (2) へ   |
| 6. これまで就労したことがない                     |             |

(1) -1 (1) で「1～4」に○をつけた方にうかがいます。1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻、帰宅時刻を数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（時刻の記入例：09 時、18 時）

1 週当たり	<input type="text"/> 日	1 日当たり	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
家を出る時刻	<input type="text"/> <input type="text"/> 時	帰宅時刻	<input type="text"/> <input type="text"/> 時

(2) 父親 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |                                   |             |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない      | } ⇒ (2)-1 へ |
| 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である      |             |
| 3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない |             |
| 4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である |             |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない          | } ⇒ 問 25 へ  |
| 6. これまで就労したことがない                  |             |



(2) -1 (2)で「1~4」に○をつけた方にかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻、帰宅時刻を数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（時刻の記入例：09時、18時）

1週当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> 日	1日当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 時間
家を出る時刻 <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 時	帰宅時刻 <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 時

問 24 問 23の(1)または(2)で「3.4.」に○をつけた方にかがいます。（それ以外の方は、問 25へお進みください。）

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

(1) 母親

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある</li> <li>2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない</li> <li>3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望</li> <li>4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい</li> </ol>
---

(2) 父親

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある</li> <li>2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない</li> <li>3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望</li> <li>4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい</li> </ol>
---

問 25 問 23の(1)または(2)で「5.6.」に○をつけた方にかがいます（それ以外の方は、問 26へお進みください）。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ 1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください

(1) 母親

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）</li> <li>2. 1年より先、一番下の子が <input style="width: 30px;" type="text"/><input style="width: 30px;" type="text"/> 歳になったころに就労したい</li> <li>3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい</li> </ol>			
<p>→希望する就労形態</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>ア. フルタイム</li> <li>イ. パートタイム、アルバイト等</li> </ol> </td> <td style="padding: 0 10px;">→1週当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> 日</td> <td style="padding: 0 10px;">1日当たり <input style="width: 30px;" type="text"/><input style="width: 30px;" type="text"/> 時間</td> </tr> </table>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ア. フルタイム</li> <li>イ. パートタイム、アルバイト等</li> </ol>	→1週当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> 日	1日当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 時間
<ol style="list-style-type: none"> <li>ア. フルタイム</li> <li>イ. パートタイム、アルバイト等</li> </ol>	→1週当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> 日	1日当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 時間	

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子が□□歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム

イ. パートタイム、アルバイト等

→1週当たり□日 1日当たり□□時間





## 9. 自由意見

問 27 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ア) 市川市役所本庁舎 1 階子育て支援課、行徳支所 2 階行徳子育て総合案内へご持参  
(平日の 8 時 45 分～17 時 15 分で受付)

イ) 同封の返信用封筒 (切手不要) に入れて投函

のいずれかの方法により、11 月 30 日 (土) までにご提出ください。

※ア) の方法でご持参いただいた場合には、「いちかわ子育ておでかけMAP」をプレゼントします。

【参考：子育て支援事業にかかる利用料の概要】

(1) ファミリー・サポート・センター

区分	お礼の基準の額
月～金曜の午前 7 時～午後 8 時まで	500 円／1 時間
土日祭日及び年末年始並びに上記以外の時間	600 円／1 時間

(2) 休日養護・夜間養護・こどもショートステイ事業（短期入所）

区分	一般世帯	市民税非課税世帯
休日養護	1,400 円	350 円
夜間養護	800 円	350 円
短期入所 2 歳以上	2,850 円	1,100 円

(3) 放課後保育クラブ

○児童 1 人当たり月額 8,000 円

○同一世帯で、複数利用する場合、2 人目から 4,000 円



### 追加する質問について

○各委員からの提出意見の中で、質問項目数を少なくするという意見があった一方、追加すべき質問項目も数多く意見がありました。小学生世帯用の質問については合計質問項目数が比較的少なかったため既に追加していますが、就学前世帯用の合計質問項目がたいへん多くなっているため、就学前世帯用、及び就学前世帯・小学生世帯共通の質問項目については、この資料にて掲載させていただきました。第3回市川市子ども・子育て会議において追加すべき質問についてご審議いただきたいと思います。

○国の調査票ひな形にあった質問の追加については、質問文の後で「(≡国ひな形 問●)」と表記しています。

○それ以外については、委員からの意見に基づき、事務局が他の質問形式とあわせ、具体化したものです。(趣旨の誤解があるようでしたら、会議の中で修正のご意見をください。)

## 3. 子育て環境についてうかがいます。

【テーマの1番はじめで】《就学前》

問① お子さんの子育てに日常に関わっている方はどなた(施設)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(≡国ひな形 問7)

- |           |           |       |        |        |        |
|-----------|-----------|-------|--------|--------|--------|
| 1. 父母ともに  | 2. 母親     | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 | 6. 保育所 |
| 7. 認定こども園 | 8. その他( ) |       |        |        |        |

## 4. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

【問11の後】《就学前》

問② お子さんは、現在下記の事業をどのくらい利用していますか。現在の利用日数をA欄に、希望する利用日数をB欄に(現在の状況と同じ場合には記入不要です)、数字でご記入ください。

	A欄(現在の利用日数) ※利用していない場合は0と記入	B欄(希望する利用日数) ※A欄と異なる場合のみ記入
私立幼稚園で行っているプレ保育(2歳児)	月 □□日 くらい	月 □□日 くらい
私立幼稚園で行っている子育て支援事業(0~1歳児)	月 □□日 くらい	月 □□日 くらい





6. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

【テーマの1番はじめて】《就学前》

問⑥ すべての方にうかがいます。お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に定期的な教育・保育事業を利用していますか。利用している場合には、□内に数字をご記入ください。（記入例：09時から18時まで）

※一時的な利用、親族・知人による預かりは含みません。

（委員意見をもとに、具体化したもの）

(1) 土曜日

1. 利用していない	} ⇒ 利用している時間帯 □□時 から □□時まで
1. ほぼ毎週利用している	
2. 月に1~2回利用している	

(2) 日曜・祝日

1. 利用していない	} ⇒ 利用している時間帯 □□時 から □□時まで
1. ほぼ毎週利用している	
2. 月に1~2回利用している	

(3) 長期の休暇期間中

1. 利用していない	} ⇒ 利用している時間帯 □□時 から □□時まで
1. ほぼ毎日利用している	
2. 週に数日利用している	

## 7. お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

【問 30 の後、3 問】《就学前》

問⑦ 問 29 で「2. 利用したいと思わない」に〇をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに〇をつけてください。(=国ひな形 問 22-4)

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ）

問⑧ 問 28 で「ウ。」から「ク。」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに〇をつけ、仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。(≒国ひな形 問 22-5)

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □□ 日
2. 休んで看ることは非常に難しい

問⑨ 問⑧ で「2.」に〇をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに〇をつけてください。(≒国ひな形 問 22-6)

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（ ）

8. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について  
うかがいます。

【問 32 の後】《就学前》

問⑩ 問 31 のA欄で全ての項目について「1.」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(※国ひな形 問 23-1)

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（）

## 11. 育児休業など職場の両立支援制度についてうかがいます。

【問 44 の後】《就学前》

問⑩ 問 42 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる欄に○をつけてください。

(※国ひな形 問 30-7)

	母親	父親
利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)		
利用した		
利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)		

問⑪ 問⑩で「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

	母親	父親
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった		
仕事が忙しかった		
短時間勤務にすると給与が減額される		
短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる		
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した		
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた		
子育てや家事に専念するため退職した		
職場に短時間勤務制度がなかった (就業規則に定めがなかった)		
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった		
その他 ( )		

## 12. 別テーマ

《就学前・小学生両方》

問⑬ 市川市の子育て支援事業に対する「満足度」をお伺いします。下記の①～⑦のそれぞれ、および「子育て支援事業の総合評価」について、どの程度満足されているか、当てはまる番号1つに○をつけてください。

(委員意見をもとに、具体化したもの、①～⑦の項目については変更可)

項目	評価	大変満足	ほぼ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
(記入例)		5	④	3	2	1
①子育てに関する情報提供・相談の充実		5	4	3	2	1
②保育サービスの充実(待機児童解消)		5	4	3	2	1
③幼児教育の充実		5	4	3	2	1
④多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービス(病児保育・一時預かり等)の充実		5	4	3	2	1
⑤子どもが安心して遊べる場の充実		5	4	3	2	1
⑥子育て家庭への経済的支援の充実		5	4	3	2	1
⑦母子保健、小児救急医療の充実		5	4	3	2	1
子育て支援事業の総合評価		5	4	3	2	1

問⑭ 上記の①～⑦のうち、今後特に重点的に取り組むべきものは何だと思えますか。①～⑦のうちから3つまで選び、下記に記入してください。

(委員意見をもとに、具体化したもの)

今後重点的に取り組むべきもの

--	--	--

問⑮ 市川市での居住について、今後も継続して市川市に住み、子育てをする予定ですか。当てはまる番号 1つに○をつけ、「2」に○をつける場合には、理由として当てはまる記号 1つに○をつけてください。

- |     |                         |
|-----|-------------------------|
| 1.  | これからも市川市に住み子育てをしたい      |
| 2.  | 市川市外への転居を考えている          |
| →理由 | ア. 教育・保育・子育て支援の施策に不満がある |
|     | イ. 「ア」以外の理由             |

問⑩ 子育ての理想として、子どもをどのように育てたいと考えていますか。ご自由にお書きください。

問⑪ お子さんに、小学校入学前の教育を受けさせたい（受けさせる必要がある）と思いますか。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. とてもそう思う
2. そう思う
3. あまり思わない
4. まったく思わない
5. わからない

委員意見一覧（修正・削除の意見のみ）

【就学前児童世帯用】

分類	新設問番号	旧設問番号	意見概要
全般			<p>フルタイムで就労している人にかかわる質問項目が多い。フルタイムで就労していない子育て世代や出産を考えている世代のニーズも把握できる内容が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問の意味を読み取りやすさ（言い回しをやわらかく）</li> <li>・当てはまる回答がない、ということをなくす</li> <li>・質問の順番・誘導の点で工夫する</li> </ul> <p>家庭で子育てを楽しんでいる人は答えにくい質問・選択肢になっている</p> <p>「必要」という表現よりも「希望」という表現を使うほうがよい</p> <p>「お子さん」は「宛名のお子さん」としたほうがよい。質問が長いので忘れてしまう</p> <p>これから出産を計画している市民のニーズも取り込む必要がある</p> <p>1 ページ目、新制度への期待感を深め、調査協力を高めるため「調査の目的」と「新制度の考え方」に分ける</p> <p>「結婚・妊娠・出産・育児・保育・教育・就学までの連続性」と「子育て支援への期待」「働き方への期待」という調査項目の流れに変える</p> <p>ソフトで明るい印象に</p> <p>文章を簡潔にする</p> <p>ページ数を半分程度に、回答時間 5 分以内が目安</p> <p>「(数字は一桁に一字)」等の表現ではなく、記入例を見せたほうがわかりやすい</p> <p>選択肢が 2 段以上にわたるような多いときには、横並びではなく縦並びのほうがよい</p>

分類	新設問番号	旧設問番号	意見概要
全般			<p>利用希望を聞く質問の「なお、事業の利用には一定の利用者負担が発生します」は削除（別紙を見ればわかる）</p> <p>テーマは、似ているものを近くに配置する形で、並べ替えただほうがよい</p> <p>旧質問 22-1 下や問 25 下などの網掛けの質問誘導は削除し、他の質問誘導と形式・フォントをあわせる</p> <p>新制度施行後の子育て環境の変化を記し、新制度への期待感とニーズ調査の重要性を伝える（例：認定こども園の検討、学童保育の対象年齢拡大等）</p> <p>妊婦や次世代の父親・母親になる結婚世代、子ども（小・中・高校生等）の意見もとるべきである</p> <p>回収率を上げるため、広報活動・記入者のモチベーションを上げるための努力が必要</p> <p>子どもを持つ方への調査なので、余白部分にかわいいカラーのイラストが入っているといい</p> <p>質問数が多いと回答者は途中で嫌になってしまう</p> <p>提出してくれた人の中から抽選で何か当たるなどのメリットがあれば回収率が高くなる</p> <p>選択肢で、事業の説明が繰り返され読みにくい。旧質問問 14-1、15 のみでなく、事業内容の詳細一覧をまとめる。</p> <p>事業を利用したい理由（教育・就労・介護・病気・就学など）と、実際の事業の利用状況や使い分けが結果に表れる設問がよい</p> <p>質問文における事業内容の記載は読みにくく、削除したほうがよい（別紙を見ればわかる）</p> <p>「回答するに当たってお読みください」中、「あなたがお住まいの市」「市町村」→「市川市」</p> <p>回答の生かし方の図の中で「乳幼児期」の教育・保育であることがわかるように、また、「ファミリー・まま制度」「放課後保育クラブ」等市川市の事業名に</p> <p>用語の定義で「子育て」「教育」の定義がわかりにくい</p> <p>1 ページ目から伝達情報が多すぎ。新制度の考え方の部分はフォントを小さく別枠で</p>
前書き部分			



分類	新設問番号	旧設問番号	意見概要	
お子さんと家族の状況	3	3	質問文を「お子さんは何人いますか」とし、回答は選択制に。未子の生年月は不要	
	4、5	4、5	「ご回答いただく、ご回答いただいている」→「ご記入されている」	
	4、7	4、7	「お子さんからみただけ」は削除（当然わかる）	
	5	5	同居しているかを把握できる質問に	
	削除	6	同居しているかを把握できる質問に	
			親族の居住地までの移動時間等の選択肢がわかるように	
			他設問で親族の援助は把握できるため削除	
	課題		「子どもの育ちをめぐる環境」→「子育て環境」（ピンとこない）	
	子育て環境	6、8、9	7、9、9-1	「子育て（教育を含む）の（教育を含む）を削除。「子育て」で十分わかる
		6	7	選択肢の順番を下記に変更 1.主に母親 2.主に父親 3.父母ともに 4.主に祖父母 5. その他（ ）
9		9-1	誰とどこが混在している 「6.保育士→保育園」「7.幼稚園教諭→幼稚園」等 市川市固有の名称を追記	
			選択肢にこども発達センターを入れる	
			NPOがわかりづらい	
10		10	自由記入欄としては小さい。大きくする	
			漠然としすぎて答えづらい。予防接種のことなど、例を挙げる	

分類	新設問番号	旧設問番号	意見概要
地域の子育て支援事業 の利用状況  お子さんの幼稚園や保 育所、その他の利用状 況	11	17	選択肢「市川市で実施している類似の事業」が不明 小学生旧設問番号 18 のような表にまとめるほうがよい
	11	17、18	現状に満足しているか聞くのはどうか
	11、12	17、19	旧質問 17 選択肢「1.」にこども館を入れるべき 旧質問 19-⑥にわたける理由は 旧質問 17 選択肢「2.その他～」とは何か、分かりづらい
	12	19	「幼稚園の育児相談・園庭開放」を追加 「A～Cのそれぞれについて」→「A～Cのすべてについて」 市川市の事業名にする 選択肢でこども発達センターを追加 選択肢で児童家庭支援センター・ここのだいを追加
	標題 13～24	標題 14・15 の一連の 質問	「お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の～」 →「お子さんの幼稚園や保育所、その他（※）の～」とし、その下で補足説明 教育・保育事業を利用している人と利用していない人とで大きく質問項目を分けてしまっただけ がいい。利用している人だけが回答する質問と全ての人が回答する質問が交互にあるのはわかりにく い。
	14	14-1	「現在市川市内にはありません」は削除
	14、19	14-1、15	市川市で取り組んでいない事業は下のほうにまとめるほうがよい 認定こども園の幼稚園部分と保育施設部分を分けている理由は何か 選択肢の順番や事業名と、アンケート別紙の施設・事業名を合わせる (2)の補足説明「(地域の教育・保育の環境～)」の削除(混同する)
	15	14-2	

分類	新設問番号	旧設問番号	意見概要
教育・保育事業の利用状況	17, 20	14-4、 15-4	利用時間帯に関する選択肢、又は自由回答欄を設ける
	18	14-5	選択肢 1 は「子どもの母親か父親がみている」がよい 選択肢 1 について、他の選択肢と統一しカッコ部分を後ろにする 選択肢 2 について、「親戚の人」→「親族」
	19	15	質問文に「今後」「希望」という表現を入れる 選択肢で「14. 利用の予定はない」を追加 複数回答に戻し、◎・○・△など希望レベルを把握する形で回答してもらう 「もともと当てはまる番号1つ」に変えた理由は 質問の誘導がわかりにくい。補足説明が必要
	23	15-1	質問文の修正
	21	15-2	問 1 (P.O) をご参照の上、当てはまる番号 1 つに○をつけ、「2.」に○をつける場合には、地区についても口内に数字でご記入ください。
	24	16	「教育・保育・子育て支援の利用が円滑にできるように、調整・案内する人（介護保険のケアマネージャーのような人）がいれば、相談したいと思いませんか。」がよい 「利用者支援」がどんな内容を指すのか、共通の理解が不足しているため、設問があいまいになっている
			イメージしにくい。具体的な市川市の事業名（子育てコンシェルジュ等）を入れるべき
			教育・保育・子育て支援の資源を集約する総合的窓口が今後必要。その必要性の有無を調査してほしい
			この質問内容では回答が難しい

分類		新設問番号	旧設問番号	意見概要
土日、長期休暇の教育・保育事業	25	20	定期的な事業を利用している人に限定して質問すべき	
	27	22	旧質問「問 22.におすすみください」→「問 23」の誤り	
	28	22-1	「就労していない方」→「自宅にいる方」 日数ははっきり覚えていないこともありつまずく。選択式になっているほうが答えやすい 質問文「それぞれの日数」→「それぞれの日数（おおむね）」	
病気の際の対応	30	22-3	選択肢で「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（ファミリー・サポート・センター 一等）」を追加	
	31	23	小学生旧設問番号 18 のような表にまとめるほうがよい 視点を变えて満足度を質問するのがいいのではないか	
	削除	24-1	旧質問 25 のア.オ.カの選択肢を追加（不定期に預け入れるニーズの総量を把握） 日数ははっきり覚えていないこともありつまずく。選択式になっているほうが答えやすい ファミリー・サポート・センターの説明を削除 アンケート別紙にまとめる	
	33	25	「1.大規模～」 「2.小規模～」の違いが分かりづらい 質問文「それぞれの日数」→「それぞれの日数（おおむね）」 ファミリー・サポート・センターで宿泊は可能なのか	
	34	25-1	ア.オ.カ.選択者に限定した理由は	
	35	26	設問の前に対象年齢が小学校 6 年まで拡大される旨を表記	
	36	28	設問 2 行目「放課後児童クラブ」→「放課後保育クラブ」の誤り	
	37～39	11～13	質問の誘導がわかりにくい。国のひな形の質問方法のほうがいい	
	39	13	選択肢 2 「1 年より先、一番下の子どもが口歳になったところに就労したい」 → 「今すぐにはないが、いずれ働きたいと思っている。おおよそ年後」のほうがよい	

分類	新設問番号	旧設問番号	意見概要
職場の両立支援制度	40	30	質問文：「双方」→「両方」に。 ・「母親、父親それぞれについて」に下線
			解答欄：取得期間について、母親も調べるべき 取得していない理由に「自営業」を追加
	41	30-1	選択肢 2「現在も育児休業中である」に「(復帰予定である)」を追加
	41～	30-1～	選択肢番号を入れる
	42	30-2	質問文「問〇で育児休業取得後、職場に復帰した方にうかがいます」を追加
	44	30-4	取得期間は開始と終了両方の時期（何歳何ヶ月）を記入できるようにすべき
			質問文「必ず利用できる事業」→「必ず預けられる保障」
			質問文「必ず利用できる事業」がわかりづらい、「預けられる保育所など」を追加する等具体性をもたせる
			1歳を過ぎて育児休業取得中の方が答えにくい質問になっている
	40～45	30～31	旧質問 13の次へ移動。すべての方への設問は前半に寄せるべき。
45	31	最後のページは別テーマであることを明確に。大きな自由記述欄を設ける。	
アンケート別紙			私立幼稚園・預かり保育・認可外保育施設などの利用者負担について、大まかな月額（下限～上限、または平均）と補助金の金額を載せる方がよい

【小学生世帯用】※就学前児童世帯用と同質問は省略

分類	新設問番号	旧設問番号	意見概要
子育て環境	9	9-1	選択肢に「こども発達センター」「教育センター」を入れたほうがよい
病気の際の対応	11	14	「登校できなかった」が不登校にとれる→「欠席」に
	12	14-1	「就労していない方」→「自宅にいる方」